

東島根中学校長雑感

足立区立東島根中学校

令和7年5月19日 令和7年度 第3号

お弁当

校長 大瀧 訓久

私が住んでいる台東区・下町は祭りが盛んである。GW明けから6月半ばにかけて、下谷神社・浅草神社・鳥越神社と大きな祭りが続く。地元のかっぱ橋道具街では鳥越祭りの次の週に大きな神輿を出して渡御を行う。私と同じ年で、昔からの担ぎ仲間のS氏は、電気屋に勤め、学校や公共施設の照明やスピーカー、エアコンなどの取り付け・修理をする仕事を生業にしている。昔、作業していた高所から転落し大怪我をして入院したこともある。けれども神輿は担ぐ、明るく豪快な人である。そんなS氏は、約15年前、最愛の妻を病気で失った。子供は、当時高校生と中学生の娘さんが二人。心配をかけ続けた亡き妻のためにも、「娘二人は俺が責任をもって育てる。」それからS氏のお弁当作りが始まった。高校生の長女だけではなく、水泳選手だった次女の大会にも必ずお弁当を作って応援しに行っていた。S氏は、次女が高校を卒業するまでお弁当を作り続けた。

「お弁当は親からのお守り」という言葉がある。私が高校生活三年間無遅刻無欠席で通えたのは、母親のお弁当のおかげかもしれない。母親はご飯のど真ん中にいつも大きな梅干を入れてくれた。高校卒業時、アルミ製弁当箱の上蓋の裏側を見るとちょうど梅干が当たる部分が梅干の酸で少し溶けていた。梅干の酸、強しである。受験の時は、験(げん)を担いで、いつもカツを入れてくれた。何校も受験するので、飽きないようにヒレカツ、かつ丼、かつ煮、かつサンド・・・とメニューを変えてもくれた。しかし、受験の結果はほとんど不合格、私は親不孝な息子である。前任校で、親の帰りが遅いので普段から自宅で夕飯作りを積極的に手伝っていた生徒は、都立晴海総合高校進学後も毎日自分でお弁当を作り続けた。在学中に簿記やパソコンなどの資格を取り、高校卒業後は、地元の信用金庫に就職して、早く家計を助けたいと中学三年の校長面接時に語っていた。しかし、妹も大きくなり自宅を任せられるようになったので、高校卒業後は北海道の国立大学・小樽商科大学に推薦で進学を決めた。自ら作り続けたお弁当の御利益かもしれない。東京から遠く離れていても、彼女ならしっかりと一人で暮らし、多くの専門的な資格を取得できるであろう。

東島根中学校の給食はおいしいと評判である。私も多くの中学校に勤務したが、本校の給食が一番おいしいと感じる。うま味調味料を一切使わず、天然だしの味を生かし、すべて食材から調理してきたてにこだわっている給食は、本校の自慢の一つでもある。ABC理論（A)当たり前を(B)馬鹿にしないで(C)ちゃんとしてよう）ではないが、いままで当たり前に食べていた給食も義務教育最後の中学校で終了してしまう。卒業したらもう普通に食べることができなくなる給食、日々、栄養士・調理さんたちに感謝の気持ちを込めて食べてもらいたい。

S氏の長女は今では結婚し子供がいる。彼にとっては可愛いお孫さんだ。水泳が得意な次女は体育大学に進学し教員の免許を取得した。今でも、アクティブな次女とは、冬場はスキー場、夏場は海や野外コンサートと一緒に行くらしい。「いつまでも娘さんとデートできてうらやましいなあ」と冷かすと、「いやいや、金が出るばかりだよ！」と言いながらもS氏は嬉しそうに笑っている。男手一つで二人の娘さんを大学卒業まで育て上げた彼を私は人として尊敬している。

Better な進路選択を

2月下旬、高校時代の友人 K が亡くなった。先月末、彼をしのび会が開かれ多くの同級生が集まった。高校時代の話題になったら、皆、話が止まらない。武勇伝、笑い話、マル秘話、失恋話、部活動、行事、修学旅行、アルバイト、友人旅行、男子校あるある……。スキー部の K たちは、冬場の合宿代を稼ぐため後樂園球場(現東京ドーム)で売り子(飲み物・ホットドッグ等)のバイトに励んでいた。たまたまテニス部の友達と観客ガラガラのパ・リーグのデーゲームを観戦していたら、スキー部の連中が通るたびに「あっ、大瀧じゃん」と言って飲み物や食べ物を次々に恵んでくれた。懐かしい思い出である。高校時代は、大きな希望と不安を抱えた個性豊かな仲間たちが一人ひとり輝いていたように感じる。人間、自分が感動した本や曲は、読んでみなよ、聞いてみなよと他人に勧めたくなる。今思うと私は本当に楽しい高校時代を過ごさせてもらった。だからこそ生徒の皆さんにも思い出深い高校生時代を経験してもらいたい。

都立高校の校長と話をする、「ミスマッチを避けてもらいたい」との言葉をよく聞く。ミスマッチによってせつかくの高校生活が灰色に染まったり、途中でやめてしまっってはもったいない。高校には、進学に力を入れている高校、部活動に力を入れている高校、就職に力を入れている高校、ものづくりに力を入れている高校、スモールステップで常に声をかけてくれる高校等々……。高校一つ一つに強い個性がある。自分が実際に通うことになる高校である。決して他人事とは考えず、パンフレットやホームページを見るだけではなく、自分の足で行ってみて、自分の目で見て、自分の耳でしっかりと話を聞いて判断してください。「Best マッチ」は難しいとは思いますが、周りからのアドバイスも参考にしながら、最終的には自分自身で悔いの残らない「Better なマッチ」ができるようにしていきましょう。

諸連絡

◎4/28(月)～3学年・国語科の清水谷苑実教諭が産休に入りました。授業等は、産休代替教員の齊藤菜々美教諭が行います。

◎SSR (スモール・ステップ・ルーム) 不登校未然防止の取組：不登校(傾向)生徒の居場所 GW明けに開設しました。まずは、見学・体験してみてください。希望者は担任に連絡して下さい。

◎1学年・保健体育科の柳原冬馬主幹教諭の育休代替として前倒し任用で池田 柊(ひいらぎ)教諭が授業等の補佐についています。

今後の予定

5月19日(月)	全校朝礼、運動会練習・教育実習始	9日(月)	全校朝礼、学校公開始
20日(火)	眼科健診(全学年)	10日(火)	専門委員会
23日(金)	尿検査2次、英語検定	11日(水)	身体体力測定
26日(月)	内科健診(2年)	13日(金)	中央議会、漢字検定
27日(火)	尿検査2次追加、運動会係会②	14日(土)	土曜授業、修学旅行説明会(3年)、 学校説明会 11:00～
28日(水)	運動会予行	16日(月)	生徒集会
30日(金)	運動会前日準備	18日(水)	小中連携研修(東栗原小学校)
31日(土)	運動会 (予備日は6月3日(火))	19日(木)	前期中間考査〈給食なし〉
6月 2日(月)	運動会振替休日	20日(金)	前期中間考査〈給食なし〉 、避難訓練
5日(木)	高校の先生の話を書く会(2・3年)	23日(月)	実力テスト(3年)
6日(金)	耳鼻科健診(全学年)、教育実習終		